

20/3 期は Q4 コロナ影響で 1.5%増収 0.3%営利減、21/3 期は下期回復で 22/3 期に期待

株価 2329 円 (5/22) 時価総額 217 億円 (5/22) 発行済株 9333 千株 (5/22)

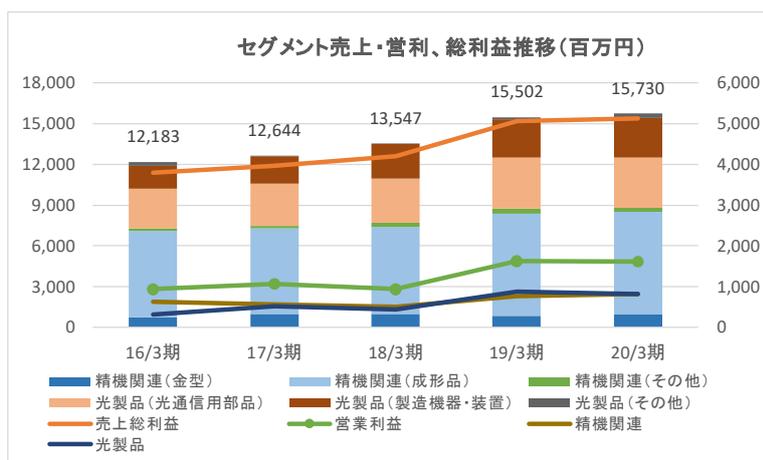
PER (21/3DO 予 21.2X) PBR (0.91X) 配当 (21/3 予) 40 円 配当利回り : 1.7%

要約

- ・ 20/3 期は米中摩擦、Q4 コロナ影響で 1.5%増収 0.3%営利減と計画未達に終る
- ・ 21/3 期は上期コロナ影響で大幅減収減益も下期は 5G、データセンタ投資増で収益回復へ
- ・ 株価は 22/3 期 DO 予想 EPS168 円に対し電機平均 PER18.4 倍 3100 円でアウトパフォーム

20/3 期は米中摩擦、Q4 コロナ影響で 1.5%増収 0.3%営利減と計画未達に終る

20/3 期決算説明動画が 5/18 に開示された。Q3 累計まで増収増益を保っていたが、米中摩擦に加えコロナウイルスが直撃、下期に新製品効果を見込んでいたが寄与がなく、売上高 157.29 億円 (計画比 14.71 億円未達成、1.5%増) 営利 16.14 億円 (同 1.86 億円未達、0.3%減)、経常利益 16.88 億円 (3.8%減)、税引利益 11.52 億円 (6.5%減) となった。

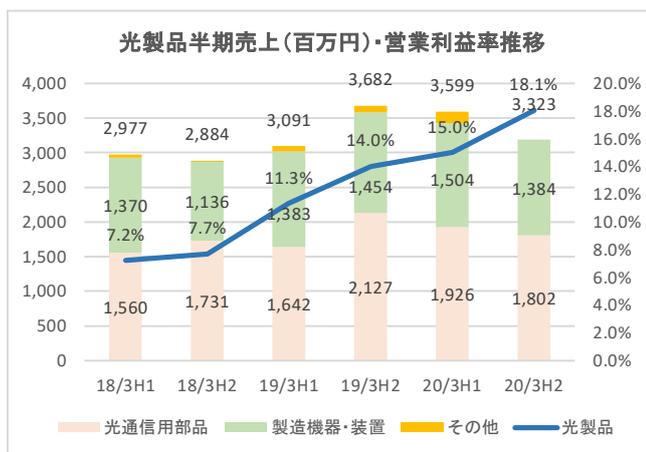


部門別は精機部門が売上高 88.08 億円 (計画比 7.51 億円未達、0.9%増)、営利 8.09 億円 (計画比 1.49 億円増額、7.4%増) となった。下期に新製品効果を見込んでいた自動車関連や医療バイオ関連成形品が期ずれや工場操業停止などで減少、一方利益は新製品立ち上げ費用が抑えられ増益に。光製品関連は売上高 69.21 億円 (計画比 7.99 億円未達、2.2%増)、営利 8.04 億円 (計画比 3.36 億円未達、7.0%減) と、米中摩擦影響でデータセンタ向けなどが低迷、5G 向



けも操業停止やサプライチェーン混乱でコスト高が響く。なお超小型樹脂レンズはスマホ採用が増え増収に。

なお、コロナ影響については国内で本社が光部品の売上遅延、子会社ではプレス成形品減で 2 億円、海外でも中国での稼働停止、欧米でのロックアウトなどで 2 億円の売上影響があったとしている。利益面でも操業率低下、コロナ対策によるコスト増などが大きく影響した。



21/3 期は上期コロナ影響で大幅減収減益も下期は 5G、データセンタ投資増で収益回復へ

21/3 期は上期にコロナ影響が尾を引き、下期回復を見込むものの、売上高 154.2 億円 (2.0%減)、営利 15 億円 (7.1%減)、経常利益 15.8 億円 (6.4%減)、税引利益 10 億円 (13.3%減) 予想とした。なお、上期は 13.1%減収、37.5%営利減に対し、下期は 9.3%増収、35.8%営利増予想としている。

現状、中国の生産が既に通常稼働となっており、欧米は販売面でまだ支障があるものの、Q1 がボトムとなる模様。光製品関連では光通信用部品が 5G 普及促進で基地局向け光部品の伸長が見込める他、5G 対応の基地局アンテナ測定用に光電界センサーも新規に売上が見込める。レンズでは 5G 端末の拡大で複眼化と超小型レンズ拡販が進む。加えてアフタコロナでリモートワーク、遠隔医療、バーチャルオフィス、リアルタイム追尾など、新たな情報爆発を起こすアイテムが増え、データセンタ投資が再度本格化、400GBIT 光トランシーバ用光デバイス用部品や光コネクタの拡大、新型光コネクタ研磨機の伸長も見込める。精機関連では千歳工場の能力増強で自動車関連、医療バイオ関連成型品の拡大、精密金型も微細化、肉薄成形

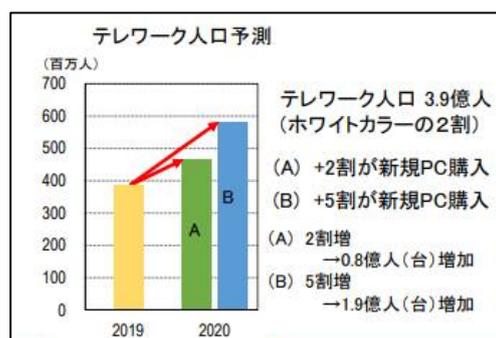
- ◆ **光通信用部品**
- 光コネクタ
フェルル 等
- ◆ **製造機器・装置**
- 光コネクタ研磨機
光コネクタ端面検査装置
光電界センサー 等
- ◆ **その他**
- 超小型レンズ 等



技術を生かした高付加価値製品の売上増が見込める。このような環境の中、コロナ影響から立ち直り、IT 投資に邁進する中国、また国内向けにも受注回復が見込まれ、会社予想並みの収益が期待される。

続く 22/3 期は 5G 端末の本格拡大、アフタコロナ社会構築に向け新たな情報爆発が期待され、2 本柱とも 2 ケタ増収が見込まれ、04/3 期

の 21.69 億円を抜き経常最高益更新が期待される。22/3 期以降も 5G 端末の本格拡大、データセンタ需要拡大、車載や医療でも能力増強効果から増収増益が続こう。



株価は 22/3 期 DO 予想 EPS168 円対比電機平均 PER18.4 倍 3100 円でアウトパフォーマンス

株価は 5G 基地局投資拡大の中で 10/24 には 3920 円の高値を付けたが、米中摩擦、コロナ感染などで全体相場下落とともに急落、3/13 に 1517 円の年初来安値を更新し、その後 2300~2400 円水準で推移している。5/12 決算発表で前期会社計画未達成、今期減益予想となったものの、その後も同水準で推移している。現在、21/3 期会社予想 EPS109 円に対し PER21.4 倍は電機平均 PER18.4 倍 (20/3 期想定) に対し割安感はない。しかし同社は 21/3 期収益予想を開示し Q1 を底に回復が見込まれ、しかも 5G、アフタコロナで 22/3 期には最高益更新が期待される。このため今期減収減益予想を織り込み、22/3 期 DO 予想 EPS168.8 円に対し、電機平均 PER18.4 倍にあたる 3100 円を目標にアウトパフォーマンス継続とする。

精工技研(6834)	(百万円、円)									
	売上高	増減率	営業利益	増減率	経常利益	増減率	税引利益	増減率	EPS	配当
19/3期	15,502	14.4%	1,619	73.9%	1,755	66.5%	1,233	34.8%	133.3	30.00
20/3Q1	4,101	16.0%	524	89.2%	518	78.0%	345	127.0%	37.3	0.00
20/3Q2	3,836	-1.6%	420	-19.1%	417	-28.6%	277	-33.9%	35.3	0.00
20/3Q3	3,841	-10.3%	369	-23.6%	414	-20.7%	295	-16.7%	32.2	0.00
20/3Q4会予(2/7)	5,422	43.2%	487	43.2%	501	39.9%	333	8.1%	35.5	40.00
20/3Q4	3,952	4.4%	301	-11.5%	340	-5.0%	236	-23.4%	26.1	40.00
20/3H1期初会予	8,290	11.5%	950	19.3%	970	10.9%	670	17.3%	72.5	0.00
20/3H1	7,937	6.8%	944	18.6%	935	6.9%	622	8.9%	67.5	0.00
20/3H2期初会予	8,910	10.4%	850	3.3%	880	0.0%	580	-12.4%	62.7	40.00
20/3H2修正会予	9,263	14.8%	856	4.0%	915	4.0%	628	-5.1%	67.7	40.00
20/3H2	7,792	-3.4%	670	-18.6%	753	-14.4%	530	-19.9%	58.3	40.00
20/3期会予	17,200	11.0%	1,800	11.2%	1,850	5.4%	1,250	1.4%	135.2	40.00
20/3期	15,729	1.5%	1,614	-0.3%	1,688	-3.8%	1,152	-6.5%	125.8	40.00
21/3H1会予	6,900	-13.1%	590	-37.5%	630	-32.6%	330	-47.0%	36.0	0.00
21/3H2会予	8,520	9.3%	910	35.8%	950	26.2%	670	26.4%	73.1	40.00
21/3期期初会予	15,420	-2.0%	1,500	-7.1%	1,580	-6.4%	1,000	-13.3%	109.1	40.00
22/3期中計予(16/5作成)	25,000		2,500							
21/3期DO予	15,400	-2.0%	1,500	-7.1%	1,580	-6.4%	1,000	-13.3%	109.1	40.00
22/3期DO予	19,800	28.6%	2,250	50.0%	2,300	45.6%	1,560	56.0%	168.8	50.00
23/3期DO予	22,500	13.6%	2,650	17.8%	2,700	17.4%	1,890	21.2%	204.5	60.00

年度	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 金予	22/3期中 計会予	21/3期 DO予	22/3期 DO予	23/3期 DO予
売上高	12,183	12,644	13,547	15,502	15,730	15,420	25,000	15,400	19,800	22,500
売上原価	8,394	8,672	9,348	10,443	10,600	11,735		10,500	13,570	15,350
売上総利益	3,789	3,972	4,199	5,059	5,129			4,900	6,230	7,150
販管費	2,859	2,907	3,268	3,440	3,515			3,400	4,050	4,500
営業利益	930	1,065	931	1,619	1,614	1,500	2,500	1,500	2,180	2,650
経常利益	967	1,165	1,054	1,755	1,689	1,580		1,580	2,230	2,700
親株主帰属純利益	550	801	915	1,233	1,153	1,000		1,000	1,560	1,900

セグメント売上情報年度	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 金予	22/3期中 計会予	21/3期 DO予	22/3期 DO予	23/3期 DO予
精機関連	7,595	7,482	7,689	8,729	8,808	8,470		8,450	9,900	10,500
光製品	4,588	5,163	5,861	6,773	6,922	6,950		6,950	9,900	12,500
売上合計	12,183	12,644	13,547	15,502	15,730	15,420		15,400	19,800	23,000

セグメント営業利益	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 金予	22/3期中 計会予	21/3期 DO予	22/3期 DO予	23/3期 DO予
精機関連	617	559	494	753	809	610		610	760	910
光製品	314	506	437	866	805	890		890	1,540	1,910
営業利益	930	1,065	931	1,619	1,614	1,500	2,500	1,500	2,300	2,850

年度	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 金予	22/3期中 計会予	21/3期 DO予	22/3期 DO予	23/3期 DO予
売上高	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%
売上原価	68.9%	68.6%	69.0%	67.4%	67.4%			68.2%	68.5%	68.2%
売上総利益	31.1%	31.4%	31.0%	32.6%	32.6%			31.8%	31.5%	31.8%
販管費	23.5%	23.0%	24.1%	22.2%	22.3%			22.1%	20.5%	20.0%
営業利益	7.6%	8.4%	6.9%	10.4%	10.3%	9.7%		9.7%	11.0%	11.8%
経常利益	7.9%	9.2%	7.8%	11.3%	10.7%	10.2%		10.3%	11.3%	12.0%
親株主帰属純利益	4.5%	6.3%	6.8%	8.0%	7.3%	6.5%		6.5%	7.9%	8.4%

セグメント営業利益率	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 金予	22/3期中 計会予	21/3期 DO予	22/3期 DO予	23/3期 DO予
精機関連	8.1%	7.5%	6.4%	8.6%	9.2%	7.2%		7.2%	7.7%	8.7%
光製品	6.8%	9.8%	7.5%	12.8%	11.6%	12.8%		12.8%	15.6%	15.3%
営業利益	7.6%	8.4%	6.9%	10.4%	10.3%	9.7%	10.0%	9.7%	11.6%	12.4%

